



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)1284

URL: <http://www.nbr.co.jp/>

統合失調症および認知症に関する行動試験を

ご紹介いたします。

統合失調症に関する行動試験 について

- ・メタンフェタミン誘発運動亢進試験
- ・メタンフェタミン誘発常同行動試験
- ・ノルエピネフリン致死試験
- ・フェンサイクリジン(PCP)誘発常同行動試験
- ・新生仔時期PCP投与モデルの社会性行動試験
- ・トリプタミン誘発痙攣試験
- ・プレパルスインヒビション試験(PPI)
- ・PD-128.907誘発あくび試験
- ・レセルピン低体温試験

新生仔時期PCP投与モデルの社会性行動試験

II

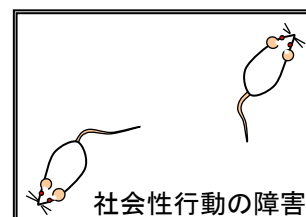
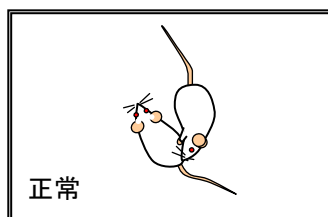
新生仔時期のマウスにPCPを投与することで、成長後に社会性行動 (Social interaction) の障害を示すモデルを作製する

＜ Social interaction ＞

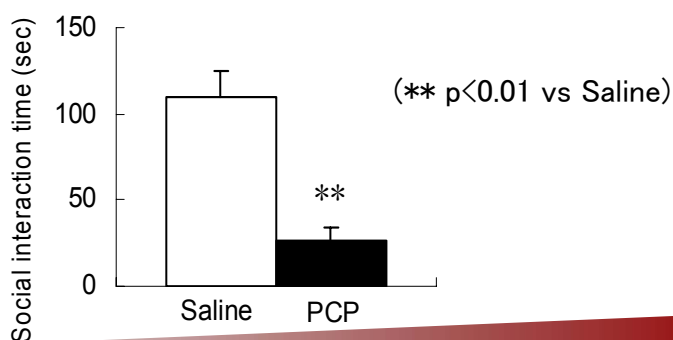
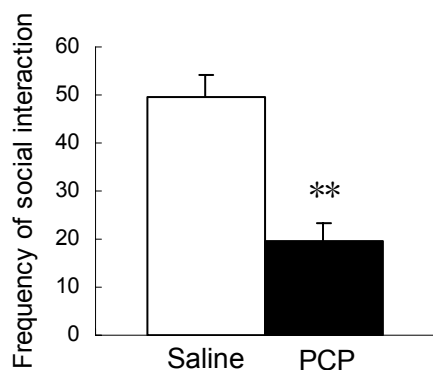
Genial investigation: 相手に対する探索動作

Sniffing: 相手の匂い嗅ぎ行動

Social grooming: 相手に対するグルーミング



Social interactionの変化



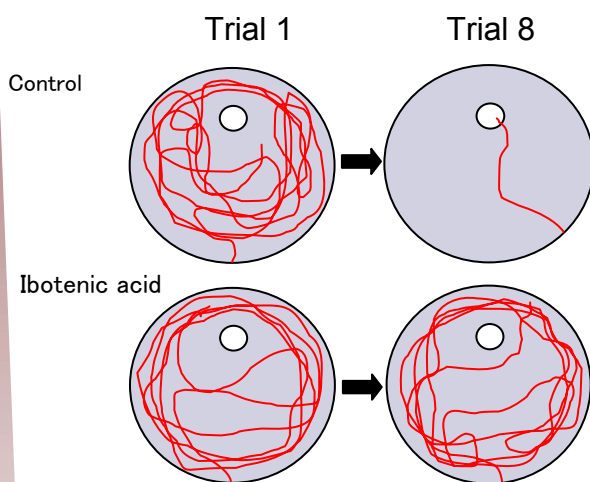
認知症に関する行動試験 について

・ステップスルー試験 ・モーリスの水迷路学習能 ・八方向放射状迷路

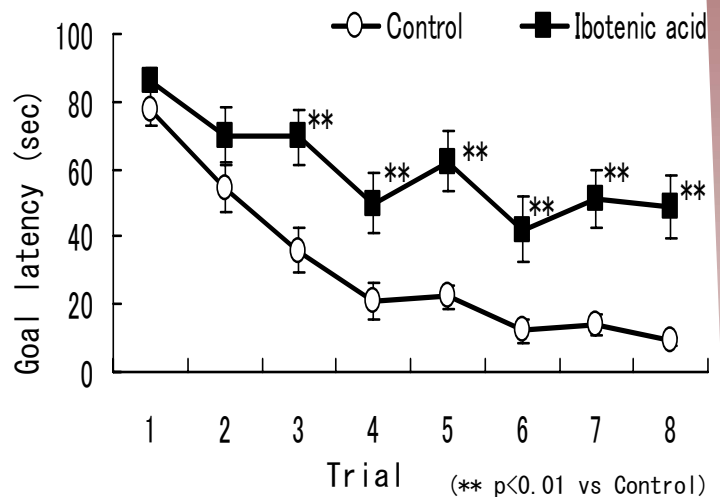
モーリスの水迷路学習能

II

空間情報を手がかりとした退避行動を利用して、空間記憶を評価する方法



Goal latencyに対するイボテン酸の影響



佐部利 典彦のアートギャラリー(26)

岐阜県出身(1969~)

作品解説

タイトル:「cycle」 サイズ:70cm×70cm 技法:アクリル絵具
この作品のもとのイメージも長良川です。川の水もそうですが様々なものが、循環していて、そこに、動きや、エネルギーが表出していきます。血液や生命や運命も。



お知らせ:

次号予告: 肥満試験について

『心の絆 - その26-』

金曜日夜刻からの新幹線はとても混雑します。その中には週末を利用して我が家に戻る単身赴任者が多く含まれています。そのほとんどは男性で、日本では今や、男一人の単身赴任は当たり前になっています。子供が転校するのが大変だから、奥さんが土地に馴染んでいるからなど、単身赴任する理由はいろいろです。そして、社会や会社も家族よりも経済や仕事を優先して、家族一緒に転勤できない理由をほとんど問いつめません。大方は「それぞれの家庭事情があるから仕方ないね」で片付け、男性も「亭主、丈夫で留守がいい」を甘んじて受け入れています。しかし、こうした社会でいいのでしょうか。私たちが人生の中で家族を作る意味合いはどこにあるのでしょうか。一緒に生活し、嬉しいことも悲しいことも共有しながら人生を刻み、その中から一番に理解し合い、一番に心を許し合える絆を築けるのが家族ではないのでしょうか。人生は家族からスタートします。家族が一緒に暮らすことを最優先にした社会体制創りが急がれます。